

公営企業水道事業の平成16年度決算報告

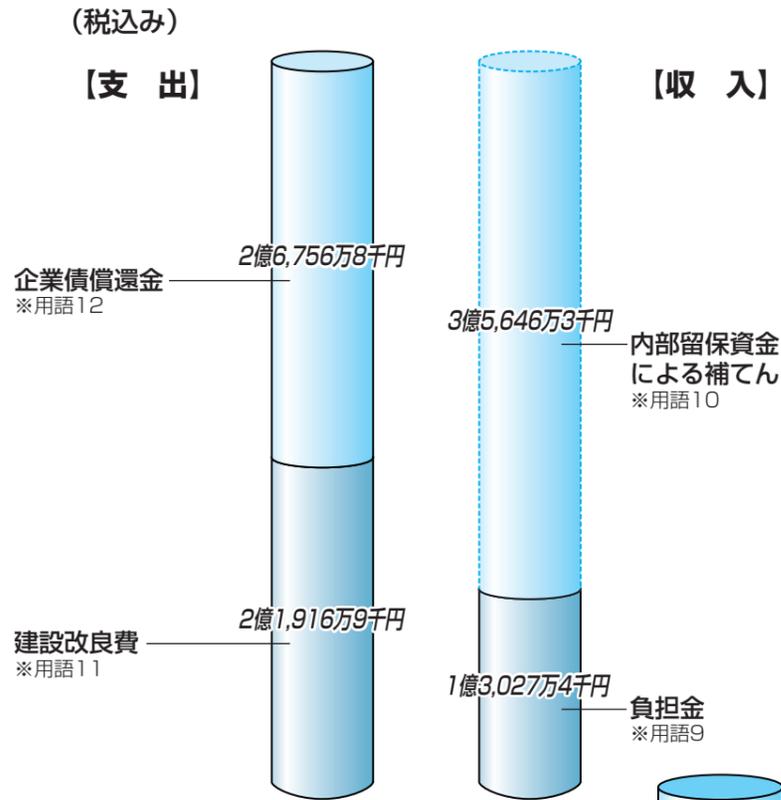
▶問い合わせ 水道グループ管理 チーム ☎0794(35)2379

用語解説

- 水道料金** 使用者の皆さんに支払っていただいた水道料金です。
- 受託工事収益** 給水装置の新設または修繕などの工事受託による収益
- 人件費** 水道事業所で働く職員の給料などです。
- 受水費** 兵庫県から水道水を買った費用です。播磨町は約9割を井戸水でまかっていますが、井戸の延命を計り、また災害などの緊急時に備えるため、一部を兵庫県から購入しています。
- 減価償却費** 施設の資産価値の減少分。将来、老朽化した施設を更新するための財源となります。
- 支払利息** 施設建設の際に借りたお金（企業債）の利息です。
- 受託工事費** 給水装置の新設又は修繕などの受託工事に要する費用
- その他** 水をつくるために必要な薬品や動力費、集金や検針、水道管の修理や古くなったメーターの交換などにかかった費用です。
- 負担金** 建設または改良工事のための工事負担金や新たに水道水を使う時に支払っていただいた加入分負担金や給水装置負担金など
- 内部留保資金による補てん** 減価償却費等資産を再構築するために積み立ててきた資金です。
- 建設改良費** 古くなった水道管を付け替えたり、新しく水道管を延ばしたりするのに要した経費です。
- 企業債償還金** 施設建設の際に借りたお金（企業債）の元金返済分です。

資本的収支

古くなった水道施設の改良や新しい施設を作るために必要な資金の収支



水道事業では、住民サービスの向上と、業務の効率化に伴う人件費などの削減を図るため、平成16年度に新水道料金システムを導入しました。ハンディターミナル検針による業務の省力化、効率化により職員の業務を大幅に減らしたことで正職員を1人減らし、パート職員に切り替えることができ、また検針業務委託料を削減しました。また、納入通知書を封書からはがきに変更することにより、郵送料をおよそ10%削減しています。これにより、システム導入に要する費用、コンビニ収納

《業務改善の経過報告》

実施により発生する手数料など以前より増加する費用から削減した費用を差し引くと1年当たり200万円程度コスト削減することができると見込みです。その他、播磨町第3浄水場では、施設の改修、機械設備の修繕・更新などの計画を立て、順次実施していますが、改修年度に再度点検を行い、翌年度以降に繰り延べできる場合は、翌年度以降に他の修繕箇所と一体施工するなどして、工事費を削減することができるよう検討を行っています。



水道水 1m³当たりの
給水原 価の内訳

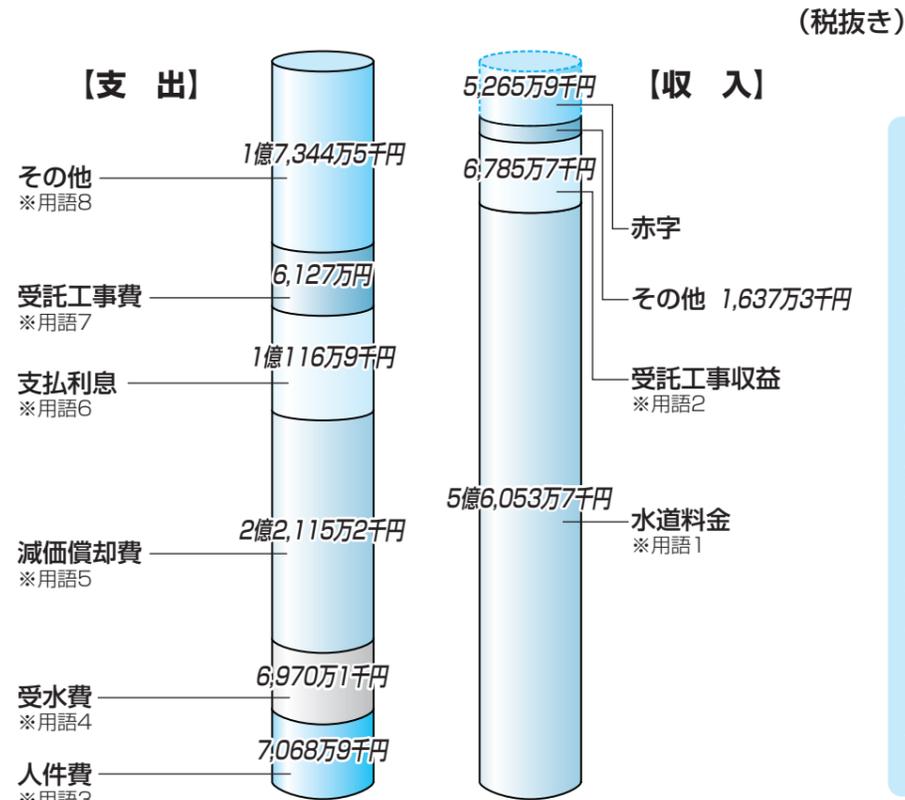
よって、平成16年度収支では、5265万9千円の純損失（赤字）を計上しました。

給水原価と供給単価

供給単価とは、皆さんからいただいている水道料金の1m³当たりの平均金額のことです。同決算では140.77円となり、給水原価が供給単価を約19円上回りました。つまり現状では、水1m³給水することに19円の赤字になっています。

収益的収支

水道料金による収入と水を作ったり、家庭に送るための維持管理経費などを中心とした営業活動の収支



水道事業は独立採算制

水道事業は、「地方公営企業」として法律により税金を使わずに、使用者の皆さんからいただく水道料金により運営するように定められています。これを「独立採算制」といい、税金や国などの補助金などで運営される町の会計とは全く違った運営形態となっています。

また、会計方式は企業会計方式をとっており、収益的収支と資本的収支の2本立てで会計処理し、民間企業のように財務諸表と呼ばれる「損益計算書」や「貸借対照表」を作成しています。

収益的収支

総事業収入では、受託事業の減少により受託工事収益が6785万7千円で前年度に比べ1021万6千円減額となつているため、480万2千円の減額の6億4476万7千円となつていますが、収入の柱である水道料金収入が418万8千円の増額となる5億6053万7千円となり、7年ぶりに前年度を上回りました。景気の低迷や節水機器の普及などにより平成9年度をピークに減少を続けていましたが、ほぼ底をついた感があります。

資本的収支

収入については、下水道布設工事に伴う工事負担金が5354万6千円減少し、また、新たに水道水を使う時に支払っていた加入分負担金や給水装置負担金などが合わせて1539万7千円減少したことにより、負担金合計では6894万3千円減少し1億3027万4千円になりました。

支出については、下水道布設工事に合わせて、老朽管の布設替・改良を行い、前年度に比べ3370万8千円減少し2億1916万9千円となりました。また、企業債の元金償還分として、2億6756万8千円支出しました。

なお、資本的収入額が資本的支出額に不足する額3億5646万3千円は、内部留保資金で補てんしました。

給水原価とは、水1立方メートル（以下m³）作るのに必要な費用のことです。平成16年度決算では159.61円になりました。